

白川わくわくランド

さかなし小学校三年一組

赤お けい太

六月十五日、日曜日、ぼくは、お父さんと
お母さんで水土里ネット一の宮で水のベンキ
ように行きました。朝は雨がいっぱい
ていました。そして、しゅうごう場所に行
たら、どしゃぶりでした。それでも、人がい
っぱいきていました。大がたバス三台で、白
川わくわくランドに行きました。そこで、ぼ

くのすんでいるあその川の水をいくつかも
て行きました。そして、どのくらい川の水が
よごれているか、藻で見てみました。ぼくが
した水は、さかなしの水でした。そして、そ
の水は、よごれてなかったです。そして、川
には、タガメやゲンゴロウやほたるのようち
ゅうがいのを、はじめて、しりました。川
の中の虫は、きれいな水の中にないと、し
んでしまいます。それに、ぼくたちが、毎日
のんでいる水がよごれていると、水がのまれ

なくなるので川の水をよごさないで、川をきれいにしようと思いました。ぼくの家の水はいどの水です。つめたくて、おいしい水です。だから、だいに使わないと、いつかなくなります。それから、いつも、お母さんに水をちゃんと、とめなさいといわれます。そして、お母さんは、お風呂の、のこり水をせんとくきにいれて、つかいます。それで、大きなドラムかんに、雨水をためています。それは、たいふうや、大雨で家の電気が切れて、いどの水をくみあげるときかいたりしました。そのとき水がでなくなつたから、水をくみにとおくまで行って、それで顔をあらつたり、おんせんに行つたりしました。だから、これから水も水を大事つかいます。